

第71回労務委員会、平成21年度第3回人事制度研究会
アトテック ジャパンのメンタルヘルス対策事例
～独自作成の管理マニュアルや国の支援を活用する中小企業の参考例～



メンタルケア取組みの内容

(1) 06年に中央労働災害防止協会の無料支援（労働者数1,000人未満の労災保険適用事業場対象）を知り、コンサルタントの指導でまずは社員のメンタルヘルスに関する知識や理解を深めるための研修（管理職対象のラインケア研修、一般社員対象のセルフケア研修）から開始。

(2) 復職支援の整備としてフロー（復職支援の

流れ）や書式を作成。

(3) 管理者のための「メンタル不調者対応マニュアル」を自ら作成し、部下がいる管理職に配布。目次構成は、メンタル不調のサインを見逃さないうで、部下からメンタル不調の相談を受けたら、部下のメンタル不調の噂を聞いたら、部下が休業に入る時、又は入ってしまった時、メンタル不調の社員から退職や役職の辞退の申し出があったら、休職中の社員から復職をしたいという連絡を受けたら、休業と復職を繰り返してうまくいきません、薬の量について、他としている。同時に、人事部がとるべきアクションをまとめた人事部員用のマニュアルも作成。

(4) 病気休業に関する就業規則見直しのため、05年～08年に改定を重ねた。

講演終了後、労務委員との懇談を行いさらに個別に意見交換を行った。（文責 事務局）